

平成 28 年 3 月 7 日

報道関係各位

東京建物株式会社

福島県天栄村との連携を強化 法人初「田んぼのパートナー制度」に参加し 新たな震災復興支援活動を開始

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：佐久間 一）は、福島県岩瀬郡天栄村の特産品であるお米の栽培農家を支援するためのプロジェクト「田んぼのパートナー制度」に法人として初めて参加しましたのでお知らせします。

東京建物グループは、福島県岩瀬郡天栄村において、大規模複合リゾート施設「羽鳥湖高原レジーナの森」の開発・運営を行っており、かねてから天栄村との深い結びつきがありました。

東京建物グループは、CSR 活動の一環として、これから天栄村との連携を強化し、「おいしく、美しく、未来へつなぐ」という理念のもとに日本一美味しいお米作りを目指す天栄村の活動を支援し、ひいては福島の震災復興を応援してまいります。さらに、この取組みを少しでも広げていくために、併せて東京建物グループの全社員に対して「田んぼのパートナー制度」への参加者を募り、企業および社員が一体となって天栄村の活動を支援してまいります。

御礼として頂いた優良なお米についてはグループ内のさまざまな施設において利用を図り、福島県の安全、安心なお米の普及・PR 活動を推進してまいります。

平成 28 年 10 月 1 日に 120 周年を迎える東京建物では、地域社会とのつながりをこれまで以上に大切にし、持続可能な社会づくりを目指して、CSR 活動を推進してまいります。

【田んぼのパートナー制度とは】

東日本大震災によって村一番の特産品であるお米（通称：天栄米）が福島第一原子力発電所の事故の風評被害に晒された際に、天栄村産業振興課が中心となって立ち上げたプロジェクトです。

具体的には、天栄村産業振興課の支援のもとに発足した「天栄米栽培研究会（安心・安全なお米作りの追求と天栄米のブランド化を目指すための組織、会員 24 名）」に対して、お米作りにかかる運営経費 1 口あたり 15,000 円を支援金として拠出する代わりに、収穫後の優良なお米 30kg を支援者に対し返礼する制度であり、支援金は運営経費のほか研究費や耕作放棄地の再生などの農村環境整備等の事業費としても活用されます。



《田んぼのパートナーによる田植えの様子》

【天栄米とは】

天栄米栽培研究会が栽培した天栄米は、米・食味分析鑑定コンクール（米・食味鑑定士協会が主催する新米の食味鑑定による国際コンクール）において、同コンクールの最上位である金賞を 8 年連続で受賞し続けており、社会的にも評価の高いお米です。



《天栄米》